

平成26年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT26084

【プログラム名】3倍体プラナリアは有性生殖できるか？—染色体セットの削減を伴う卵・精子の形成—



開催日：2014年8月5日(火)

実施機関：慶應義塾大学
(実施場所) (理工学部 矢上キャンパス)

実施代表者：松本 緑
(所属・職名) (理工学部・准教授)

受講生：中学生 17名

関連 URL：http://www.st.keio.ac.jp/news/20140903_001.html

【実施内容】

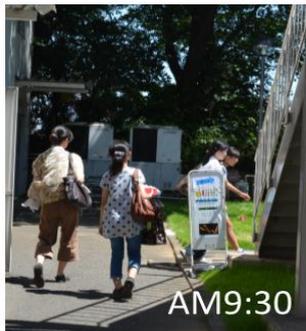
・受講生に分かりやすく研究成果を伝えるために、また受講生に自ら活発な活動をさせるためにプログラムを留意、工夫した点

TAは学生実験経験者の実習に慣れた学生を採用し、受講生3-4人あたり1名のTAを配置した。午前中に観察と餌やり、切断をおこなうことにより、実験動物のプラナリアに慣れて愛着をもってもらうようにした。実験後のプラナリアをプレゼントし、再生の課程を観察することを勧めた。夏休みの自由研究にも役立つと思われる。また、昼食時には、TAを各テーブルに配置させ、気軽な会話から質問等ができるように配慮した。

・当日のスケジュール・実施の様子・事務局との協力体制

- ・スケジュール
- 10:00 - 受付
- 10:15 - 開校式
- 10:30 - [講義]プラナリアってどんな生き物? 松本 緑(准教授)
- 11:00 - [実習]プラナリアの観察 紀本 千明(M2)
- 11:50 - 見学 次世代シークエンサー 長谷 純崇(技術職員)
- 12:15 - 昼休み
- 13:00 - [講義]-3倍体プラナリアの生殖戦略 茅根 文子(博士研究員)
- 13:50 - [実習]染色体標本の観察と作成 茅根 文子 (博士研究員)
- 14:40 - 見学 矢上キャンパス内
- 15:00 - 休憩 クッキータイム
- 15:50 - [講義]プラナリアの生殖様式転換機構 野殿 英恵(博士研究員)
- 16:15 - 修了式

・実施の様子

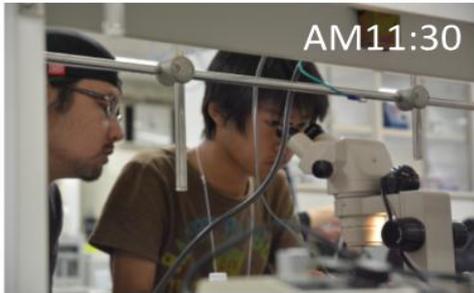


AM9:30

その日はとても暑い日でした。
Excitingな一日の始まりです。



スマホでプラナリアの摂食行動を観察記録をとります。



父子で真剣にプラナリアを観察しています。



超最新機器の次世代シーケンサーに釘付けです。



大学生のお兄さんと話しながら、楽しいランチタイムです。



染色体観察です。見つかるかしら？



最後の講義です。みんな疲れも見せずに興味津々です。



おめでとう！みなさん未来の博士です。

- ・事務局との協力体制: 受講者の選択と連絡については事務局に委託した。当日は3人のスタッフが現場と事務室に常駐した。また、開校式では、事務局がひらめき☆ときめきサイエンスの趣旨として科研費とは？を解説した。
 - ・広報活動: 理工学部ホームページや「かながわサイエンスサマー」のリーフレットに概要を掲載し、県内の小学校に広く周知を行った。
 - ・安全配慮: 受講生3-4人あたり1名のTAを配置した。切断実験ではメスを用いるが、使用後はすぐに回収した。
 - ・今後の発展性、課題
- 2度目の経験なので、生徒たちの対応は順調にでき、すべての受講者から良好な感想を得ることができた。受講者の選択を先着とせず、最終日までに届いた80名を越える希望者から抽選としたため、平等な選択になったと思われる。アンケートには、次回の開催を希望する声があり、継続的に履修を希望する声もあり、リピーター用の上級者クラスを開催してほしいという依頼もあった。

【実施分担者】

長谷 純崇 理工学部・技術職員

【実施協力者】 6 名

【事務担当者】

高野 道子 理工学部 学術研究支援課・事務員
林 伸哉 理工学部 学術研究支援課・事務員